

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月15日

協議会名:射水市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
海王交通(株) 株三島野観光 有)小杉タクシー	「のるーと射水」北東	令和7年度新規事業のため、前 回の事業評価なし。	A	事業が計画に位置づけられ たとおり、適切に実施された	A R7年度の補助対象期間は R7.4～R7.9(6か月)であるた め、年間で目指す水準を設定 している目標値についてはそ の1/2で算出。 ①利用者数 【目標】30,000人 以上 【実績】29,465人 →現時点では未達成だが、利 用者数の増加する冬季(12月 ～2月)を考慮すると目標値の 達成が見込まれるため、A評 価とする。 ②収支差額 【目標】21,500千円 以下 【実績】19,578千円(達成) ③収支率 【目標】12.2%以上 【実績】18.2%(達成)	・R8年度以降は、利用者の多い 冬季を含む通年で目標・効果達 成状況を把握することとなるこ とから、目標は達成し続けるこ とができる見込み。 ・今後も、利用実態を踏まえ、運 行台数や乗降場所等の見直し を行うなど、利便性向上策を講 じ、利用者の増加に努める。 ・また、交通結節点やバス停等 において、見やすく、分かりや すい時刻表や路線図の他、デ マンド交通の利用方法等の情 報提供を行い、利用を促す。
エムアールテクノサービス (株)	「のるーと射水」南東 車両購入を含む	令和7年度新規事業のため、前 回の事業評価なし。	A	事業が計画に位置づけられ たとおり、適切に実施された	A R7年度の補助対象期間は R7.4～R7.9(6か月)であるた め、年間で目指す水準を設定 している目標値についてはそ の1/2で算出。 ①利用者数 【目標】35,000人 以上 【実績】29,638人 →現時点では未達成だが、利 用者数の増加する冬季(12月 ～2月)を考慮するとともに、 利用者の利便性向上のた め、一部区域において、コミュ ニティバスの運行を再開した ことから、コミュニティバスの 利用者数も含めると目標値の 達成が見込まれるため、A評 価とする。 (コミュニティバス利用者(推 計)を含めると34,834人) ②収支差額 【目標】24,000千円 以下 【実績】19,671千円(達成) ③収支率 【目標】12.2%以上 【実績】18.2%(達成)	・R8年度以降は、利用者の多い 冬季を含む通年で目標・効果達 成状況を把握することとなるこ とから、コミュニティバス利用者 数も含めると目標は達成し続け ることができる見込み。 ・今後も、利用実態を踏まえ、運 行台数や乗降場所等の見直し を行うなど、利便性向上策を講 じ、利用者の増加に努める。 ・また、交通結節点やバス停等 において、見やすく、分かりや すい時刻表や路線図の他、デ マンド交通の利用方法等の情 報提供を行い、利用を促す。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和8年1月15日

協議会名：	射水市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>射水市においては、旧JR西日本北陸本線を引き継いだあいの風とやま鉄道や、高岡駅等とを結ぶ万葉線、また、富山駅等とを結ぶ民間路線バスなどにより、市外と結ばれている。</p> <p>市内では、地域内交通のほか、鉄軌道などの幹線との接続を担う、17路線のコミュニティバスが運行し、特に高齢者や学生等の交通弱者には、必要不可欠な交通となっている。</p> <p>しかしながら、コミュニティバスは、利用者の減少に伴う利便性や効率性の低下や、運転手不足などにより、安定的に運行を維持することが困難となったため、利便性と持続可能性の両立を目的に、コミュニティバス等からデマンド交通「のるーと射水」への移行により、市民の生活に必要不可欠な交通を維持することが必要である。</p> <p>このため、地域公共交通確保維持事業により、「のるーと射水」を確保・維持することで、地域公共交通を提供し続ける必要がある。</p>